



ID: 1323

科目名	建築設計Ⅲ【26年度生用】			コード	
英語表記	Elements of Design and Principles of Design III				
担当教員名	田島 文隆			年度	平成26年度
基準年次	3年次	開講期	前期		単位数
授業形態	演習	授業形式			履修形態
授業概要					
生活に最も身近な住宅を通して、建築設計の基本を学ぶ。建築設計Ⅰ、Ⅱ、を基に、木造住宅を設計する。建築空間の表現方法や空間と機能、意匠、技術の関係、更に各種寸法などを理解する。					
到達目標					
1) 図面に用いられる線や製図記号の種類と意味を理解し実際に描く。2) 住宅の設計から、自分の創作する建築空間を図面で表現するための設計製図能力を身につける。3) 設計を通して建築空間の構想や設計能力を身につける。					
授業計画					
第1回	住宅の設計実習、エスキース				
第2回	配置・平面計画の検討 方位・建物位置、実際の生活を想定して計画する。				
第3回	平面と構造の整合性。建築として成立するか検討する。				
第4回	立面・断面の検討 外観を立体的に把握し検討を加える。				
第5回	配置図・平面図の確定をして、図面化する。				
第6回	生活空間が見える工夫をする。				
第7回	断面図 空間構成が最も良く伝わる位置で断面図を作成する。				
第8回	立面図 単純明解な表現で工夫し作図する。				
第9回	基礎伏図・梁伏図 木構造の独特の表現方法を理解し作図する。				
第10回	梁伏図・軸組図 各図面との整合性をとる。				
第11回	矩計図 開口部を含んだ断面詳細図を作成する。				
第12回	透視図(パース) 2点透視図法を用い、外観パースを作成する。				
第13回	外観パースに着色を施し、仕上げる。				
第14回	模型製作 スチレンボードを用いて、模型を制作する。				
第15回	作品の発表と評論				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
課題の提出物により表現力・完成力・理解力を総合的に評価する。その他、学習意欲・出席状況も考慮する。			出席	授業態度	レポート
				50	50
			期末試験	その他	
					制作能力
授業外学習			テキスト、教材		
			講義内容の資料を料付する。		
参考書			受講生へのメッセージ		
『建築設計資料集成・居住』 日本建築学会編 丸善 『建築製図』 富塚信司篇 実教出版社			条件として建築設計Ⅱを履修の事		
キーワード					